

「令和 8 年熊本地震速報会」を開催しました（2026/7/31）

テーマ：災害緊急調査、速報会、令和 8 年熊本地震

会場：オンライン（Zoom）および YouTube Live 同時配信

URL：https://irides.tohoku.ac.jp/event/event_jn/detail---id-6343.html

https://irides.tohoku.ac.jp/research/prompt_investigation/20260728kumamoto-eq.html

災害科学国際研究所では、国内外で大規模な災害が発生した際、迅速な情報収集や解析、情報発信を行うとともに、得られた知見をみなさまにお伝えする速報会を実施しています。2026 年 7 月 28 日に発生した「令和 8 年熊本地震」を受け、7 月 31 日に「令和 8 年熊本地震速報会」をオンラインにて開催しました。

速報会の冒頭では、越村俊一所長（災害ジオインフォマティクス研究分野）が被災された方々へのお見舞いを述べ、「災害研が持つ研究力を総動員して地震のメカニズムなどを明らかにし、その結果をできるだけ早くみなさまと共有することが私たちの役割である」と開催の趣旨を説明しました。続いて、各分野の研究者が最新の知見を発表したほか、被災地にある熊本大学の竹内裕希子副学長と田中尚人准教授にご登壇いただき、発災以降の対応や現地の最新状況などについてご報告いただきました。

【プログラム】 司会：森口 周二 教授（計算安全工学研究分野）

1. 開会挨拶

越村 俊一 所長（災害ジオインフォマティクス研究分野）

2. 地震発生場と余震活動

遠田 晋次 教授（陸域地震学・火山学研究分野）

※代理発表：福島 洋 教授（防災コミュニケーション学分野）

3. 地殻変動観測

福島 洋 教授（防災コミュニケーション学分野）

4. 地震動特性

大野 晋 准教授（地震工学研究分野）

5. 令和 8 年熊本地震における建物被害の初期整理と現状把握

榎田 竜太 准教授（地震工学研究分野）

6. マルチモーダル被害解析

マス エリック 准教授（災害ジオインフォマティクス研究分野）

7. 文化財レスキュー

蝦名 裕一 准教授（災害文化アーカイブ研究分野）

8. 熊本県内医療機関被災状況と医療対応

佐々木 宏之 准教授（災害医療国際協力学分野）

9. 二度目の熊本地震に際してー災害から四日目の大学人として

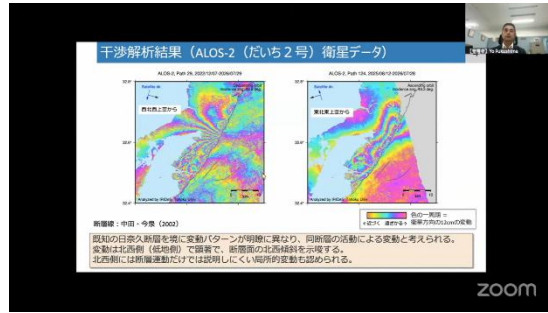
竹内 裕希子 熊本大学副学長、大学院先端科学研究部 教授

田中 尚人 熊本大学大学院先端科学研究部 准教授

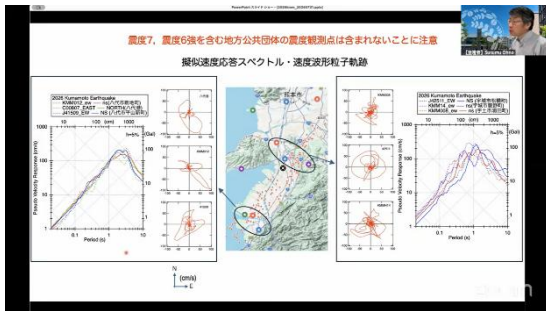
今回の速報会には、Zoom および YouTube Live の同時配信を通じて、延べ 770 名の方々にご参加いただきました。当研究所では今後も多角的なデータ収集と分析を進め、被災地支援に全力で取り組んでまいります。



冒頭で挨拶する越村所長



福島教授の発表



大野准教授の発表

DMATの動き(1)	
7/28 16:27 (発災)	震度7、DMAT自動待機基準：③ 震度7の地震が発生した場合→ 全国のDMAT指定医療機関 。DMAT派遣要請基準：③ 震度7の地震→ 管内（熊本）のDMAT指定医療機関 並びに被災都道府県（熊本）に隣接する都道府県、被災都道府県が属する地方ブロック（九州）に属する都道府県及び被災都道府県が属する地方ブロックに隣接する地方ブロックに属する都道府県に対してDMATの派遣を要請
20:30	厚生労働省DMAT事務局発。熊本県からDMAT派遣要請。 1. 派遣要請都道府県： 沖縄県を除く九州・沖縄ブロックの各県 。沖縄県を含む九州・沖縄ブロックの各県にDMATコーディネーションチームの派遣を要請。沖縄県DMATについては、各県の届出を依頼。 2. DMATの概ねの要請チーム数及び参集拠点について： ・福岡県20隊、佐賀県5隊、長崎県8隊、大分県13隊については、熊本赤十字病院に参集。 ・宮崎県7隊、鹿児島県11隊については、参集拠点調整中。（→21:50 熊本労災病院決定） ・DMATコーディネーションチームについて人数の制限はしない。参集場所は別途指示。
21:05	厚生労働省DMAT事務局発。九州・沖縄ブロックを除く各地方ブロックについては、本日夜間のDMAT派遣要請の可能性はありません。
7/29 9:55	厚生労働省DMAT事務局発。熊本県からDMATコーディネーションチーム派遣要請。 1. 派遣要請都道府県：近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック各府県。なお、一般のDMATの派遣の要請は現時点ではありません。

佐々木准教授の発表